

第 50 回産応協セミナー開催報告

第 50 回産応協セミナーが、2 月 22 日（火）、2 月 24 日（木）の両日に Webinar で開催されました。

今回のテーマは、今回が産応協セミナーにとっての 50 回目となる節目の回でもあることから、今までの国策 HPC の利活用とその成果を改めて見つめ直して見ようということで、「計算科学の発展と展望：京、富岳の活用事例を通して」と題して、各ご専門の先生方にご講演を頂きました。

今回も Webinar 開催であったため、視聴者の負荷軽減を考え、2 日間に分けて実施し、しかも中に祝日を 1 日挟む日程となりましたが、22 日は 46 名、24 日は 37 名の方々が参加され、大変有意義なお話を各講師の先生方からお伺いすることができました。

アジェンダは、以下の通りです。

《第 50 回産応協セミナーアジェンダ》

*** 2 月 22 日 ***

- ・全原子分子動力学シミュレーションによる高分子材料の研究
東京大学大学院新領域創成科学研究科物質系専攻特任教授 岡崎 進先生
- ・「富岳」と同じプロセッサを搭載した富士通のスパコン
PRIMEHPC 紹介とアプリケーション対応最新状況
富士通(株)ミッションクリティカルシステム事業本部 HPCシステム事業部システムビジネス部
シニアマネージャー 久間登夫氏
- ・ハイパフォーマンスコンピューティングによるファイバーステリング CFRP 成形技術の高度化
東京大学生産技術研究所教授 吉川暢宏先生

*** 2 月 24 日 ***

- ・「富岳」時代におけるシミュレーションとものづくり
東京大学生産技術研究所教授 加藤千幸先生
- ・「富岳」「京」による蓄電池内現象の可視化
物質材料研究機構 IIR 部・環境材料環境拠点 (GREEN) 副拠点長 館山佳尚先生
- ・「富岳」を含む HPCI 利用研究課題の募集と利用支援
高度情報科学技術研究機構神戸センター・産業利用推進部部长 齊藤 哲氏

以 上